

資料4

環境リーダー・ビジョンワーキンググループ 活動報告

第4回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市環境部会議室

平成23年11月29日(火)

1. 本年度WG活動報告

WGの目的

- あきたスマートシティ・プロジェクトをアジア・アフリカ地域の環境リーダー育成の場として位置づけ、東北大学大学院環境科学研究科が実施する「環境リーダー育成プログラム」の履修者を本プロジェクトの実施に参加させる。
- あきたスマートシティ・プロジェクトのビジョン検討を継続して行い、秋田らしいスマートシティ実現を目指す。

本年度活動内容

- 「秋田らしさ」の分析のため、「90歳ヒアリング」を実施。
- 「環境リーダー育成プログラム」との連携は、来年度実施を想定し現在検討中。

2. 90歳ヒアリングの実施

調査の目的

- 終戦時に成人であった人(1925年以前生まれ)を中心に、昔の生活様式をヒアリング。
- 自然とともに生きる暮らし方、知識を聞き出し、現代社会に再導入する。
- 共通事項、キーワードを抽出し、「秋田らしさ」を分析。あきたスマートシティに反映。

調査概要

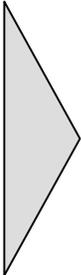
- 秋田市環境部と東北大学大学院環境科学研究科が共同で実施
- 第1回 9月16日～10月4日に実施 11名 年齢86～92歳
- 地域は、川沿い、山間部、土崎港、太平、阿仁、飯島
- 今後さらに15名程度からヒアリング予定。

別添資料:「90歳ヒアリングとりまとめ」参照

3. 90歳ヒアリング中間報告 ～キーワード～

- 冷泉と寒さ
 - 温泉は少ないが冷泉は多く活用されていた
- 特殊市場
 - 自然のものはみんなの物という感覚
- 役割
 - 祭りの役が町での地位と連動している
- 交通
 - 交通の便を重視した配置
- つながりがメシより大事
 - 交友関係を大切にする
- 水
 - 水が入手しにくかった

4. 90歳ヒアリング中間報告 ～現代への再導入～

- 冷泉と寒さ
 - 地中熱、排熱の利用
 - 特殊市場
 - エネルギーの共有
 - 役割
 - 個人発電の社会的利用
 - 交通
 -
 - つながりがメシより大事
 -
 - 水
 - 排水の再利用
- 
- 自然エネルギーを活用した雪、寒さ対策
 - 中庭・屋内に無料充電スポットを設置
 - 自転車発電などによる個人エネルギー供給による発電貢献
 - 交通結節点の活用
 - 交流スペース、連帯感を感じる仕組み
 - 水を大切に使う、水を自由に使える